

75人舌戦入り

午前9時現在 県議選告示、10日投開票

9選挙区無投票の公算

任期満了に伴う第19回県議選(定数58)が31日告示され、10日間の舌戦がスタートした。午前9時現在で19選挙区に現職53人、新人22人の計75人が立候補を届け出た。投票日は11月10日で、即日開票される。

政党別の立候補者数は自民が最多の35人で、国民民主12人、共産7人、公明4人、社民3人、立憲民主2人と続いた。無所属は12人。立候補者数が定数を上回ったのは福島市、郡山市、須賀川市・岩瀬郡、石川郡、白河市・西白河郡、会津若松市、喜多方市・耶麻郡、南会津郡、いわき市、相馬市・新地町の10選挙区。

伊達市・伊達郡、二本松市、本宮市・安達郡、田村市・田村郡、東白川郡、河沼郡、大沼郡、南相馬市・飯館村、双葉郡の9選挙区は定数通りの届け出となり、無投票の公算が大きい。東日本大震災、東京電力福島第1原発事故以降、3回目の県議選で、復興の進展や第1原発の廃炉・汚染水対策、相次ぐ大規模な自然災害への対応などが焦点

となる。大熊町長選も告示 任期満了に伴う大熊町長選は31日告示され、届け出順にいずれも無所属の新人で、前町議会議長鈴木光一氏(63)と前副町長吉田淳氏(63)の2人が立候補を届け出た。投票日は県議選と同じ11月10日。

県議選立候補者

(31日午前9時現在・届け出順、丸数字は当選回数、敬称略)

福島市 定数⑨-10

紺野 長人	64	社現②
伊藤 達也	49	公現①
大場 秀樹	50	国現①
宮本しづえ	67	共現②
誉田 憲孝	44	自新
西山 尚利	54	自現③
高橋 秀樹	54	立現③
佐藤 雅裕	53	自現②
丹治 智幸	48	自現②
渡辺 哲也	43	自新

伊達市 伊達郡 定数③-3

佐々木 彰	54	自現①
亀岡 義尚	56	国現④
大橋 沙織	28	共新

二本松市 定数②-2

遊佐 久男	60	自現②
高宮 光敏	48	自現①

本宮市 安達郡 定数①-1

佐藤 政隆	66	自現③
-------	----	-----

郡山市 定数⑩-13

鈴木 優樹	35	自新
今井 久敏	65	公現③
久保木 豊	46	国新
佐久間俊男	64	国現②
神山 悦子	64	共現⑤
飛田 義昭	67	社新
佐藤 憲保	65	自現⑥
勅使河原正之	67	自現③
山田平四郎	66	自現②
長尾トモ子	71	自現④
山口 信雄	53	自新
椎根 健雄	42	国現②
高橋 翔	31	無新

須賀川市 岩瀬郡 定数③-6

宗方 保	71	国現⑤
丸本由美子	57	共新
吉田 孝司	41	無新
川田 昌成	76	無現⑥
渡辺 康平	34	自新
水野 透	52	自新

田村市 田村郡 定数②-2

三瓶 正栄	58	無現①
先崎 温容	45	自現②

石川郡 定数①-3

野崎 正夫	69	無新
円谷 健市	65	無現②
大野 峯	64	自新

白河市 西白河郡 定数③-4

渡辺 義信	56	自現④
満山 喜一	68	自現④
金山 屯	79	無新
三村 博隆	49	無現①

東白川郡 定数①-1

宮川 政夫	60	自現①
-------	----	-----

会津若松市 定数④-5

佐藤 郁雄	56	自新
渡部 優生	58	国現①
宮下 雅志	64	国現③
佐藤 義憲	44	自現①
古川 芳憲	68	共新

喜多方市 耶麻郡 定数②-3

瓜生信一郎	70	国現⑧
江花 圭司	44	自新
渡部 信夫	59	自現①

河沼郡 定数①-1

小林 昭一	67	自現②
-------	----	-----

大沼郡 定数①-1

杉山 純一	62	自現④
-------	----	-----

南会津郡 定数①-2

星 公正	66	自現②
渡部 英明	52	無新

いわき市 定数⑩-12

狩野 光昭	67	社新
鈴木 智	46	自現②
真山 祐一	38	公新
吉田 英策	60	共現①
矢吹 貢一	64	自現②
青木 稔	73	自現⑧
安部 泰男	62	公現②
鳥居 作弥	45	国現①
坂本竜太郎	39	自現①
西丸 武進	75	無現⑥
古市 三久	71	立現③
宮川絵美子	73	共現③

南相馬市 飯館村 定数②-2

高野 光二	67	国現②
太田 光秋	51	自現⑤

相馬市 新地町 定数①-2

荒 秀一	68	無現①
鈴木 一弘	55	無新

双葉郡 定数②-2

橋本 徹	43	国現①
吉田 栄光	55	自現④

大熊町長選立候補者

鈴木 光一	64	無新
吉田 淳	63	無新

※自は自民、国は国民民主、共は共産、公は公明、立は立憲民主、社は社民の各党公認。無は無所属。年齢は11月10日現在。

首里城で火災

正殿、北殿など全焼

31日午前2時40分ごろ、那覇市の首里城で「煙が上がっている」と警備会社から119番があった。正殿

などが激しい炎を上げて燃え、消防車両が10台以上出動して消火に当たったが、首里城の正殿と北殿、南殿

がいずれも全焼した。けが人の情報はない。那覇署や消防が出火原因や経緯を調べている。

那覇署によると、正殿と北殿、南殿はいずれも木造。近接する「奉神門」や「書院・鎖之間」も延焼した。今月27日からは琉球王国の儀式を再現する「首里城祭」が開かれており、30日深夜まで関係者が準備を進めていたという。

火災を受けて那覇市は災害警戒本部を設置し、公民館や小学校計3カ所に避難



激しく燃え上がる首里城の正殿。31日午前4時20分ごろ、那覇市（近隣住民撮影）

河井法相が辞任

後任に森元少子化相(参院福島選挙区)



森 雅子氏

河井克行法相

河井克行法相(56)は31日、衆院広島3区に立候補し、安倍晋三首相と首相官邸で会い、閣僚の辞表を提出した。妻の案里氏が7月の参院選広島選挙区で初当選し

た際、運動員に法定の倍額に当たる日当3万円を支払った公選法違反疑惑が報じられ責任を取るべきだと判断した。複数の政府与党関係者が明らかにした。後任には自民党の森雅子元少子化担当相(55)が参院福島選挙区に立候補する。

9月の内閣改造後、閣僚辞任は公選法違反疑惑で事実上更迭された菅原一秀前経済産業相に続き2人目。安倍政権に大きな打撃となる。野党は安倍晋三首相の任命責任を厳しく問う。河井氏は、辞表提出後記者団に、週刊誌報道を踏ま

え「法務行政への国民の信頼が失われてしまっはならない」と述べた。疑惑が事実なら公選法違反の運動員買収に当たる可能性がある。

10月31日発売の週刊文春によると、案里氏の選挙事務所が、7月の参院選で運動員13人に対し、日当として法定上限の1万5千円を超す3万円を支払った疑惑がある。

案里氏の選挙活動は河井法相が事実上仕切っていたと指摘。2人の政治活動は一体化していたとの関係者証言も載せた。